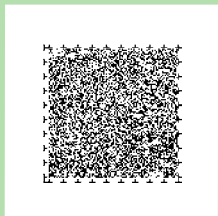




バレーボールは繋ぐスポーツ。1人の選手で勝てるわけじゃない。うちは全員が仲間で繋ぐ意識を持った素晴らしいチームです。

# ありが

# ば ヒューマン ドキュメント



知的障害者バレーボール倶楽部「排球かごしま」  
男子チーム監督

## 【元吉 拓也】さん

教え、教えられ。

一緒に成長を遂げるチーム

2016年に結成された「知的障害者バレーボール倶楽部『排球かごしま』」は、元教諭の春田眞さんが中心となり知的障害者バレーボール教室として活動を開始。

現在男子チームは、選手15名と指導者・ボランティアスタッフ数名で構成され、鹿児島市内で月3回練習しています。

チームをまとめる元吉拓也さんは、2020年開催予定だった「燃ゆる感動かごしま大会」に向けてなにか自分にもできないかと思っていたところ、以前から親交のあった島木隆成さん（聴覚障害者バレーボール男子チーム監督）から誘われ、知的障害者チームの監督に就任しました。

バレーボールの監督は初めてで、知的障害に対する知識も少なかったことから、監督就任当初は指導方法について悩むことが多かったそうです。そんな時、島木さんから「特別な目で見ると、どうしようかと悩むのではないか。健常者と付き合うように話せばいいんじゃないの。」とアドバイスされたことがきっかけで、思ったとおりにやれば良いと変わってそうです。

バレーボールの試合は、コートに立つ6人でローテーションしながら戦うため、ポジションを覚えるのに、選手はひと苦労するそうです。そのため、言葉で指導するだけでなく、元吉さん自身が動き、選手に後ろや横から見せて覚えさせるなど、指導を工夫しているそうです。

また、選手同士で良いところ・ダメなところを率直に教え合うなど、練習中もよくコミュニケーションをとっている様子が見られました。

元吉さんは「どうしたら伝わるのか、選手に逆に尋ねています。試合の時は監督ですが、自分が上だという感じではなく、「チーム」として、監督も選手もみんな一緒です。」と語ってくれました。

### 『バレーボール教室』から、 全国障害者スポーツ大会へ

鹿児島県代表チームへ

結成当初のチームは、試合に負けて悔しいと思う選手は少なかったのですが、練習や試合を重ねるうちに『もっと上手になりたい。負けたくない。悔しい。勝って全国大会に行きたい。』という気持ちが生まれるようになったそうです。また、バレーボールを始めたことで引込み思案



月3回の練習には、学生から社会人まで幅広く参加しています。初心者でも大歓迎！



バレーボールに興味のある方は、県障害者バレーボール連盟事務局までお問い合わせください。

鹿児島県障害者バレーボール連盟  
〒890-0015 鹿児島市草牟田町3-16  
((株)北義肢製作所)  
連絡先：090-8351-4347 (事務局長：元吉)

